

会 議 録

1 会議名

第7回柿崎区地域協議会

2 議題(公開・非公開の別)

(1) 協議事項 (公開)

・柿崎区地域協議会の取り組みの今後の方向性について

(2) 報告事項 (公開)

①会長からの報告事項

・視察研修について

②市からの報告事項

・地域おこし協力隊について

(3) その他 (公開)

3 開催日時

平成28年9月28日(水) 午後1時30分から午後2時55分まで

4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ 3階 305～307 会議室

5 傍聴人の数

3人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者(傍聴人を除く。) 氏名(敬称略)

・委員：長井洋一(会長)、小出優子(副会長)、薄波清美、片桐充、加藤満、金子正一、佐藤健、白井一夫、高野武夫、武田正教、新部直彦、楡井隆子、湯本清隆、吉井一寛、渡邊征雄

・事務局：柿崎区総合事務所 南博幸所長、横田一次長、大場正弘総務・地域振興グループ長、大橋靖夫産業グループ長、古屋靖夫建設グループ長、中村稔市民生活・福祉グループ長、唐澤幸代地域振興班長、野沢洋輔主事(以下グループ長はG長と表記)

8 発言の内容（要旨）

【横田次長】

- ・ 会議（地域協議会）の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明

【長井会長】

- ・ 会長挨拶
- ・ 議事録確認に新部委員を指名
- ・ 次第 4 の(1)「柿崎区地域協議会の今後の取り組みの方向性について」に入る

資料 No. 1 の前回の地域協議会で各委員から発言のあった考えや意見の一覧表をご覧ください、内容に関してニュアンスの違いや不足等あれば指摘していただきたい。これらの中から、柿崎を元気にする提案事業や自主的審議事項に結び付けたいと思っている。

【渡邊委員】

誰が、これらの項目をどのように自主的審議事項に結び付けていくのか。部会を設置し、その中で課題を深めてほしい。

【長井会長】

テーマに沿った部会を作り、数人で煮詰めていくような形にしてもよいと思う。

【薄波委員】

今後、議論を活発にするために部会を設置するのであれば、前回出された課題や意見を 3 つか 4 つに分類し、部会ごとに議論して提案事業につなげるようにすれば、具体的でよいのではないか。課題を解決するための働きかけができればよいと思う。

【金子委員】

前期の地域協議会では、総務・地域振興、教育・福祉、産業振興の3部会を設置した。私は産業振興部会に属したが、議論するテーマが大きすぎて活動が思うようにいかなかった。テーマを絞って優先順位を決めて取り組む方法が、地域の課題を拾えるのでよいと思う。

【長井会長】

地域協議会は地域の意見を聞くことが使命であることからすれば、地域へ出ていくことが大切である。地域の課題を聞くために移動巡回型地域協議会を開催し、部会設置の参考とすればよいのではないかと考える。ただし、すでに9月であるため、今年度は昨年度のように6地区で開催することは難しいので、3つの小学校区ごとに開催し、その場で挙げられた意見を部会で議論したいと考えている。

また、地域活動支援事業報告会とまちづくりに関する地域団体の発表や講師を招いての講演をフォーラムとして開催したいと考えている。

【佐藤委員】

部会を設置するかしないかを決めるのが先ではないか。その後、地域課題についてどう議論すべきかを考えるべきである。

【長井会長】

私も部会を先に設置したほうがよいと思うが、テーマ設定が難しいため、移動巡回型地域協議会を行ってから部会を設置したほうがよいと考えている。

【佐藤委員】

そうではないと思う。部会を設置するかしないかを先に決めるべきであり、議論する内容を先に考えるものではない。

【長井会長】

部会を先に設置するほうがスムーズに進むかもしれないが、テーマ設定が難しい。議論を活発にするためには、部会を早く設置することもありだと思う。

【新部委員】

前回、各委員から発言のあった項目を基に部会設置の議論が進んでいるが、発言内容の一覧を見ると、地域協議会で取り上げられるものと、それが難しいものがあると思う。地域協議会として取り上げられる項目を絞り込むことで、取り組めるものが見えてくると思う。課題を整理したうえで各項目に関し、部会の設置が必要なのか、あるいは全体で協議するものなのかを考えるべきではないか。会長の言うように移動巡回型地域協議会を開催し、その場で挙げられた意見を基に部会を設置することもよいが、もし、その場で地域住民から挙げられた意見がすでに委員が挙げた意見と変わらなかった場合、部会設置が遅くなっただけという結果となる。そのため、会長と副会長が委員から挙げられた意見を精査し、項目ごとに部会設置の必要性を考えてほしい。

【白井委員】

移動巡回型地域協議会と部会の設置の問題を切り離して考えるべきである。また、地域協議会で取り上げるべき事項と取り上げるべきではない事項の見直しをすべきであると思う。

【長井会長】

部会に限らず、勉強会を開催すれば、各委員が活発に意見を発言されると考えている。

【吉井委員】

地域協議会の大きな仕事は、地域活動支援事業の採択と自主的審議事項を審議し、市長へ意見書を提出することの2つだと思うが、昨年度は自主的審議事項を議論していなかった。自主的審議事項までもっていき、議論することが柿崎区地域協議会として一番重要なことではないかと思う。委員が自主的審議事項に挙げるべきテーマを決め、それらに優先順位をつけて取り組むべきではないか。移動巡回型地域協議会を開催し各地区へ出向くより、委員が決めるべきである。

先日、青少年育成会議で「イベントで人を集めるにはどうすればよいか」をテーマにした中学生の発表を聞いた。地域協議会においても、このような内容の議

論、発表を行う部会を設置してもよいのではないかと考える。個人的には早く自主的審議事項に取りかかりたい。

【長井会長】

今後、部会を設置する方向で、部会のあり方や内容等に関して検討したい。

また、今年度の移動巡回型地域協議会は、3つの小学校区で10月から12月までの間で開催したい。小学校区で開催することとした理由の一つに、小学校のPTAや保育園の保護者会等の若者にも働きかけ、参加していただくということがある。例年とは違う形にはなるが、そのように開催したいと考えているが、いかがか。

【金子委員】

今年度は委員の改選があり、地域活動支援事業に割かれる時間も多かったため、3つの小学校区に絞る方法はよいと思う。また、町内会長だけでなく、PTAや保育園の保護者会にも働きかけを行うのはよいと思う。

【佐藤委員】

各校区にはCS（コミュニティスクール）の委員がいる。校区内のまとまり等を考えると、PTAよりもCSの委員を主体に働きかけたほうがスムーズにいくと思う。

【長井会長】

- ・10月から12月に3つの小学校区で移動巡回型地域協議会を開催することを確認、委員から「異議なし」の声
- ・移動巡回型地域協議会開催のための検討委員会の設置を提案、委員から「異議なし」の声
- ・検討委員に加藤、佐藤、白井、高野、武田、新部、湯本各委員を指名し、長井会長自身も委員となる旨を提言、委員から「異議なし」の声
- ・移動巡回型地域協議会を平日夜に開催することを提案

【新部委員】

PTAの役員やCSの委員は勤め人が多いため、平日夜の開催は難しいのではないかと。それであれば土・日曜日の昼間に開催すればよいと考える。

また、移動巡回型地域協議会の運営や進行は検討委員会が行うのか。そうであれば、シナリオのようなものはあるのか。何を目的として開催するのかを明示していただかなければ、運営は難しいものとなる。

【長井会長】

昨年度は冒頭 30 分程度通常地域協議会を行い、閉会后、地域住民との懇談会を行った。今回は事務局は出席するが、あくまでも地域協議会と地域住民との懇談会であり、総合事務所職員とのやりとりは行わない。フランクに話をしてもらうことを目的としたい。

【新部委員】

前回、各委員から発言のあった意見が多数ある中で、さらに移動巡回型地域協議会で挙げられた意見を自主的審議事項等の議論に盛り込むことはますます大変になるのではないかと。

【佐藤委員】

平日に人を集めることは大変である。CS 等の会議は土・日曜日が中心である。傍聴者を多く集めたいのであれば、土・日曜日に開催すべきではないかと。

【小出副会長】

子どもを持つ家庭にとって土・日曜日は様々な行事が重なることが多い。平日の夜であれば、年休を取ることも可能であるため、そのほうがよいと思う。

【新部委員】

夏場は子どもの大会等があるかもしれないが、10 月から 12 月までの間、土・日曜日は意外と参加しやすいのではないかと。

【長井会長】

日程も含めて移動巡回型地域協議会に関する検討委員会で決定する。

【金子委員】

次回の地域協議会は視察研修と同日に開催しないということか。

【長井会長】

移動巡回型地域協議会の開催日によってはそうなる。

部会は移動巡回型地域協議会が終わってから設置し、課題についての議論を行うこととする。

先ほど提案したまちづくりフォーラムを2月26日（日）午後から柿崎コミュニティプラザ4階のホールで開催したいと考えているが、いかがか。

【新部委員】

地域活動支援事業に採択された各団体からの報告と地域で活動されている団体からの報告、講演会すべてを一緒に行うのは欲張りすぎではないか。時間が長過ぎると聴いている参加者も飽きてしまう。2時間が限度であり、地域活動支援事業の報告をメインにして、発表は3団体程度でよい。

【吉井委員】

このフォーラムに関しても移動巡回型地域協議会と同様に、検討委員会を設置したほうがよいのではないか。また、講演会の講師を呼ぶための謝礼の予算はあるのか。

【唐澤班長】

今年度フォーラムを開催する予定がなかったため、現時点では講師謝礼の予算はないが、ぜひ開催したいということであれば、自治・地域振興課へ掛け合って予算を用意したい。

【長井会長】

フォーラムに関しても開催のための検討委員会を設置したいと考えている。フォーラムは広報活動の一部という考えから、地域協議会だよりの編集委員に務めてもらいたいと考えている。いかがか。

(委員から「異議なし」の声)

【長井会長】

- ・ 次第 5 の(1)会長からの報告事項「視察研修について」に入る
- ・ 資料 No. 2 を基に日程、視察先等を説明
- ・ 委員へ意見等を求めるが、委員から意見なし

【長井会長】

- ・ 次第 5 の(2)市からの報告事項「地域おこし協力隊について」に入る

【唐澤班長】

- ・ 資料 No. 3 を基に地域おこし協力隊配置の経緯、隊員の紹介、主な業務等を説明

【佐藤委員】

雇用期間はいつまでか。

【唐澤班長】

雇用自体は年度ごとの更新だが、最大 3 年間は地域おこし協力隊として勤めることができる。

【佐藤委員】

配置先の集落の中に「平沢」とあるが、住人がいないのではないか。

【唐澤班長】

町内会は存在しないが、柿崎区中山間地域農業振興会の構成組織の農家組合として活動はある。

【武田集落づくり推進員】

今回採用となった地域おこし協力隊員は、黒岩地区で農業を行いたいということとで来られた。今後、もう 1 人採用したいと考えている。皆様のご支援をよろ

しくお願いしたい。

【長井会長】

- ・次第6の「その他」に入る

【唐澤班長】

- ・委員への配布資料について説明

【長井会長】

次回（第8回地域協議会）開催日

- ・日時：10月27日（木）午後6時30分～
- ・会場：柿崎地区公民館 3階 集会室

（移動巡回型地域協議会の開催日によって変更あり）

【渡邊委員】

地域協議会だより編集委員会開催日

- ・日時：10月3日（月）午後6時30分～
- ・会場：柿崎コミュニティプラザ 3階 市民活動室

【吉井委員】

橋爪市議の新聞折り込みの広報紙を読んだ。その中に柿崎区地域協議会のメンバーと話し合ったという記事があったが、これは橋爪市議と地域協議会として公式に話をしたものなのか、あるいは事務局を通じて橋爪市議のほうから話があったものなのか、その時の状況を教えてほしい。

【長井会長】

8月26日に「地域自治を考える会」主催で勉強会を行った。その時にランダムに声がかかった。朝日新聞の菅沼氏から地域協議会とはどのような会かということ話を話していただいて勉強した。事務局も知らない話である。会場はコミュニティプラザの会議室を使った。橋爪市議は15人ほどいた参加者の1人であり、直接話をしたというわけではない。

【小出副会長】

拡大地域協議会勉強会のような形で、大潟区地域協議会の佐藤忠治会長が中心となり、開催告知のFAXを送った。当日まで橋爪市議が参加されるとは思わなかった。地域協議会で開催する勉強会も検討したいと思った。

【長井会長】

参加者を選んだわけではなく、大潟区の佐藤会長が連絡先の分かる範囲で声かけをした。この次に開催される場合には、吉井委員にも連絡させていただく。

【吉井委員】

そういうことを言っているわけではない。柿崎区地域協議会委員16人の中で、声がかかった人がその看板を背負って出席することとなるが、それはおかしいと思う。地域協議会委員として勉強会出席の話があったわけなのだから、地域協議会で委員全員に告知をして、参加希望者が多くなった場合には人数を絞るという段階があってよかったと思う。このような会があちこちであって、声がかかる人間だけが参加するようでは、地域協議会がバラバラになってしまう。

【長井会長】

地域協議会の看板を背負って参加することになるので、よく考えれば節度が必要であると感じる。一方で各々勉強会に参加される人もいると思うが、その機会を失ってもいけないと考える。今回の場合は地域協議会の看板を背負って参加するように見えるため、吉井委員の指摘にあたるとも考えられる。以後、気をつけたい。

【吉井委員】

そうであれば、「このような会に参加して、このような話がありました」という報告があると思っていた。しかし、それがなかったため指摘をした。

【長井会長】

新聞等に掲載の場合があるので、報告も必要かもしれない。

【小出副会長】

今回の勉強会は地域協議会委員だけが参加した会ではなかった。地域協議会の看板を背負って参加したわけではなく、個人として参加したものだ。これからはこのような話があった場合には、委員全員に声かけをさせていただきたい。

【長井会長】

これからも柿崎区地域協議会がまとまって行動できるよう取り組みたいと思っている。些細な研修会であっても、委員全員に連絡するようにしたい。

移動巡回型地域協議会に関する検討委員会開催日

- ・日時：9月30日（金）午後1時30分～
- ・会場：柿崎コミュニティプラザ 3階 市民活動室

【長井会長】

先日保育園に行ったとき、玄関に「保育園措置費の代理受領」という紙が張ってあったが、どのような意味か。

【中村G長】

調べて答えさせていただきたい。

【長井会長】

- ・閉会を宣言

(午後2時55分閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-536-6701（直通）

E-mail：kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。